

認定NPO法人さくらんぼについて

法人ミッション 参加障害のない街づくり

目指す世界観 生活力、知力、体力、人間関係。持っているものは、それぞれ違う。それでも、一緒に暮らせる社会。

事業内容

- 保育事業■ 認可保育園（2園）、小規模保育事業（4園）、乳幼児一時預かり事業
- 支援事業■ 横浜市瀬谷区地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場
放課後キッズ学童クラブ、児童家庭支援センター
派遣事業（産前産後ヘルパー派遣事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業、
養育支援家庭訪問事業 受託）
居住支援事業（シェアハウス2か所）、中高生の居場所
フードパントリー、アウトリーチ型食料支援

ご支援のお願い 当法人の活動目的や活動内容に賛同し、活動を支援して
くださる賛助会員を募集しています。皆様からのご支援
を力に、さらに充実した活動を続けてまいりたいと存じ
ます。お力添えくださいますようお願い申し上げます。



246-0022 神奈川県横浜市瀬谷区三ツ境 17-1 日栄食品(株)三ツ境ビル ☎045-367-7224

運営に対する想い — 居住支援・食支援 —

さくらんぼは、横浜市瀬谷区を拠点に活動している法人です。1997年に小さな保育園を立ち上げたことから始まり、地域のニーズに応じていくうちに事業が広がっていき、現在は、保育園、学童、地域子育て支援拠点、児童家庭支援センター、ヘルパー派遣などを運営しています。さくらんぼのミッションは「参加障害のない街づくり」です。「参加障害」とは、様々な特性や背景を持つ人を社会参加から排除してしまう、環境の側にある障害のことです。私たちは、様々な方がその人らしく暮らすことができるような地域にしたいという想いで事業を行っています。

誰もが調子のいい時もあれば、悪い時もあります。
困ってしまったときに、ちょっと休む場があり、落ち着いて考え、誰かに話を聞いてもらうことで解決できることがあります。非常にシビアな状況にあって、福祉につながる必要のある人だけでなく、「ちょっとつまづいてしまった」
「今、ちょっと大変な状況にある」
そんな方に、すこしの安全や安心とサポートを届けて、困難を乗り越える支援をしたいと私たちは考えています。

困窮の定義や度合いがあいまいな現代だからこそ、福祉の枠組みではなく地域の暮らしのセーフティネットとして、居住支援と食支援事業を続けていきたいと考えています。



認定NPO法人さくらんぼ

居住支援 食支援

ケア付きシェアハウス：
下宿や With（ケアリーバーの学生の住まい）
Nagomo（困難を抱えた女性のための住まい）

フードパントリー：くろーばーマーケット

シェアハウス退去者向けの食料支援：ヘルプ便



居住支援

さくらんぼでは2つのシェアハウスを運営しています。自立まで「ほんの少し」サポートが必要な女性が暮らしています。常駐するスタッフはいません。門限やルールなどの自由度は高いですが「自分で出来ることは自分で」するのが原則の住まいです。他の支援者の方たちと協力しながら、<住>の面から支えます。

ケアリーバーの女子学生ためのシェアハウス 下宿やWith

事業概要

- 所在地 :
- 共有部 : バス、トイレ、キッチン、洗面台×2
- 共用部設備 : 冷蔵庫、電子レンジ、トースター、調理機器一式、洗濯機
- 個室 : 約12㎡×2室、約16㎡×1室
- 個室設備 : 照明、カーテン、ベッド、クローゼット、エアコン
- 利用料 : 月額32,100円※～60,000円(水光熱費込)
※横浜市セーフティネット住宅家賃補助制度適用の場合

募集概要

- 対象 : 親を頼れない、大学等へ通学する女子学生
- 定員 : 3名
- 入居期間 : 学生でいる期間



生活コーディネーター（下宿やWith・Nagomoのスタッフ）がおこなうサポート

- 入居に向けての聞き取り（困りごとや利用後の計画の確認）、さくらんぼが伴走者として適切であるかのマッチング
- 日常的な見守り※基本は数時間/日・週3～4日程度。相談などがある場合など、柔軟に対応します。
注意！常駐スタッフはいません。自分で出来ることは自分で。出来ないことは一緒に考えましょう。
- 利用者間、利用者⇄スタッフ間の連絡や調整
 - ・入居者とスタッフの定例ミーティング
 - ・イベントの企画と実施（歓迎会、誕生日会、大掃除など）
- 相談対応
- 緊急時の対応（体調不良時のサポート、同行支援など）
- 食事は基本自炊です。ボランティアさんが食事づくりをしてくれたり、みんなで一緒に食事をすることもあります。
サポートは、入居者にこれまで繋がってきた他の支援者・団体と共に続けていくことが重要だと考えています

女性のためのケア付きシェアハウス

Nagomo

事業概要

- 所在地 :
- 共有部 : バス、トイレ×2、キッチン、洗面台×2
- 共用部設備 : 冷蔵庫、電子レンジ、トースター、調理機器一式、洗濯機×2
- 個室 : 約12㎡×4室、約17㎡×1室
- 個室設備 : 照明、カーテン、ベッド、クローゼット、エアコン
- 利用料 : 月額31,100円※～57,000円(水光熱費込)
※横浜市セーフティネット住宅家賃補助制度適用の場合

募集概要

- 対象 : なんらかの事情で一時的に住まいを確保するのが困難な女性
- 定員 : 5名
- 入居期間 : 1年、入居者とさくらんぼが双方合意で更新する場合最長2年



食支援

フードパントリー「くろーばーマーケット」にはスタッフが駐在していますので、世間話やちょっとした相談も出来ます。困窮した状態にある方を<食>の面からサポートしながら、地域の方たちと一緒に見守りをしていくことを目指しています。「ヘルプ便」ではシェアハウスを退去した方たちのアフターケアとして食料品を送付し、ゆるやかな繋がりを維持しています。

来店型フードパントリー くろーばーマーケット

事業概要

- 内容 : 食料品・日用品の配布
※いつも同じもの・数があるわけではありません
- 所在地 : 横浜市瀬谷区
- 開所時間 : 木曜日 11:00～18:30
祝日・年末年始は休み ※2025年3月時点

利用について

- 対象 : ①ひとり親（またはそれに準ずる状態）で、18歳未満のお子さんがあるご家庭
②①以外で食の支援が必要で、支援者（民間支援団体、お住いの地域の担当課や民生委員、ケースワーカー、ソーシャルワーカーなど）からの紹介がある方
※生活保護や年金を受給されている方は原則緊急時1回のみ利用とさせていただきます
③くろーばーマーケットまでご本人、もしくは代理人が取りに来られる方



アウトリーチ型食料支援 ヘルプ便

事業概要

- 内容 : 食料品や日用品を対象者宅への送付。小さいダンボールひと箱分、月1回
- 対象 : 当法人の居住支援施設を退去した方。希望者のみ



利用を希望される場合は、さくらんぼにご相談ください。

■ 下宿やWith・Nagomo ■

以下の内容をメールにてお知らせください

【下宿やWith】g-with@sakuranbo.or.jp

【Nagomo】nagomo@sakuranbo.or.jp

※入居先の希望がない・わからない場合はどちらに送っても構いません

メール件名：シェアハウス問い合わせ

- ① 支援者氏名・所属団体名
- ② 支援者連絡先
- ③ 入居希望者年齢、(学生の場合) 学校名と最寄り駅
※氏名などは見学等が決定しましたらお伺いします
- ④ 入居開始の希望時期、期間
- ⑤ 入居希望者の状況を可能な範囲で
- ⑥ その他、ご質問やコメントがあれば

■ くろーばーマーケット ■

以下の内容をメールにてお知らせください

clover@sakuranbo.or.jp

メール件名：くろーばーマーケット問い合わせ

- ① 支援者氏名・所属団体名
- ② 支援者連絡先
- ③ 利用希望者の居住地域、家族構成
※氏名などは利用が決定しましたらお伺いします
- ④ 利用希望者の状況を可能な範囲で
- ⑤ その他、ご質問やコメントがあれば

メールが難しい場合やお急ぎのときは電話でのお問い合わせも可能ですが、担当が常駐していないため、最初はできる限りメールでお願いします。

NPO 法人さくらんぼ 本部事務局 045-367-7224